

① 町長の決断力と環境アセスについて

町長は住民の安心安全又財産を守る義務がある。此のところ前東京都知事の不適切な公費私的流用問題に端を発し、築地市場からの移転先豊洲公害問題、オリンピック誘致問題と話題が目白押しである。又議員の政務調査費の改ざん、出張費の目的外使用と住民は血税からの報酬及び費用について監視の強化を望んでいる。昨年は長与時津環境施設組合が設置したごみ焼却施設に於いても、竣工間もなく公害目標値における改ざん事件があり、その後の経過についても未だに報告があっていない。監視業者はごみ焼却施設のプラントとコンサル共同体である。果たして適切な監視ができるのか心配である。本来であれば有識者を含めた第三者委員会の設置が必要と考え提言したが未だ立ち上げはあっていない。町長の決断力と義務感が図りきれない。今回長与町における環境アセスメントの現状を含め質問をする。

- (1) 住民の安心安全と財産を守る義務に対する基本的な考え方をお尋ねする。
- (2) 町長の危機管理並びに環境アセスについて基本的な考え方をお尋ねする。
- (3) 前都知事の不幸事が報道されたがわが町は適切な秩序が守られているのかお尋ねする。
- (4) 高田中学校は旧コンポスト跡地に建設をされているが、当時年次的な監視管理が義務づけられていると聞いているが履行されているのか。又現状のアセスに問題は無いのかお尋ねする。
- (5) 今回高田中学校に隣接する土地に組合施行による土地開発が予定されているが、此の土地についても旧コンポスト跡地であると聞いている。環境アセスは万全なのかお尋ねする。
- (6) 土地開発による隣接地への影響はないのか。又有害物質の除去はどのように考えているのかお尋ねする。